

公 益 社 団 法 人

福岡県作業療法協会会報

第114号 平成26年1月15日発行

(事務局)

〒802-0816 北九州市小倉南区若園2丁目6-21 ルミエール若宮101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 菅沼 一平



特集：「人間作業モデルについて ～前編：人間作業モデルの概要～」

目次

巻頭言 「大切な人」	事務局長 中川 昇	・・・1
会長行動		・・・2
特集 人間作業モデルについて ～前編：人間作業モデルの概要～ 専門学校麻生リハビリテーション大学校 作業療法学科 青山 克実		・・・3
理事会議事録		・・・9
各部・委員会からのお知らせ		・・・14
福岡県作業療法協会身障分野研修会企画 自助具・装具について アンケート報告		・・・21
Occupation	柳川リハビリテーション病院 近藤 沙和	・・・22
リレーエッセイ	介護老人保健施設 あやめの里 都甲 幹太 J R九州病院 中村 肇	・・・23
会員動向調査		・・・24



『あけましておめでとうございます』

昨年も様々な出来事がありました。2020年夏季五輪・パラリンピックの東京開催が決定し、富士山が世界文化遺産に選ばれました。プロ野球では楽天が優勝し震災された方を大いに勇気づけたことなど明るいニュースが世の中に流れました。一方で1997年以来17年ぶりに今年の4月に消費税が5%から8%になることが決定し、TTPの参加を表明したことにより、私達の日常生活にも影響が出てきそうです。また、東日本大震災の復興への道は遠く未だに仮設住宅で生活している人がいます。加えて異常気象（台風）により伊豆大島の土石流が起こる等、多くの方が亡くなりました。私の周りでも、昨年、大切な人が亡くなりました。私はその人のことをおいさんと呼んでいました。学生時代（善通寺リハビリテーション学院）、ともに真剣に遊んだ？仲でした。そして、卒業してからもお互いに励ましあってきました（どちらかという私の方が励まされたかと思います）。“おいさん”は学生時代からやさしく、先輩・後輩を問わず多くの人から好かれていました。私自身も困った時はついつい電話をかけていました。そんな当たり前のことが、ある日を境に出来なくなるとは...こんなにも悲しいことだとは思いませんでした。正直もう少し話がしたかった...。けれども、「今生きていることを改めて感謝し、今日の一日を一生懸命に頑張れ」と言っていたおいさんの言葉を忘れず頑張っていこうと思います。（2014私の独り言）。

ところで、今年、公益社団法人福岡県作業療法協会（県協会）は、公益法人になって2年が経過します。現在は、社団法人の時に行ってきた各部・委員会の事業を整理し、公益性を持った事業計画を立案し実施しています。その一つ一つの事業が作業療法の学術・技術の向上及び普及・啓発につながり、県民の生活機能の向上に寄与することを目的としています。今後は、さらに具体的な県協会の動きが今まで以上に見えてくると思います。その過程の中でどうしても会員の皆様の協力が必要です。今、会員数は2500名を超えています。県民の方に知っていただきませんか「作業療法の底力を！愛を！みなさんの力で！」

最後に会員の皆様のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。



会長行動（平成25年10月～12月）

- 10月7日 平成25年度第4回福岡県作業療法協会 理事会 出席
場所：らそうむスポーツガーデン
- 10月10日 福岡県作業療法協会 三役会 出席
場所：福岡県作業療法協会 事務所
- 10月12日 福岡県理学療法士会 公益社団法人移行記念式典・講演会・祝賀会
場所：ホテルセントラザ博多
- 10月15日 福岡県理学療法士会・作業療法協会・言語聴覚士会 合同役員会
場所：麻生リハビリテーション大学校
- 10月26日 日本作業療法士協会 学会運営委員会
場所：日本作業療法士協会 事務所
- 11月1日 福岡県作業療法協会 平成25年度中間監事監査
場所：吉田秀樹公認会計士事務所
- 11月2日 北九州市医師会創立50周年記念式典・講演会・祝賀会 出席
場所：リーガロイヤルホテル小倉
- 11月4日 医療とスポーツのシンポジウム 出席
場所：北九州国際会議場
- 11月5日 「むかしMattoの町があった」を上映する会・北九州 実行委員会 出席
場所：ウェルとばた
- 11月10日 第24回全国ふうせんバレーボール大会開会式 出席
場所：北九州市立総合体育館
- 11月22日 平成25年度第2回九州支部会会議 出席
平成25年度九州理学療法士・作業療法士合同士会長会会議 出席
場所：熊本市国際交流会館
- 11月23日 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会 参加
場所：崇城大学市民ホール
- 11月30日 吉田秀樹公認会計士事務所 創立25周年記念式典 出席
場所：リーガロイヤルホテル小倉
- 12月2日 平成25年度第5回福岡県作業療法協会 理事会 出席
場所：らそうむスポーツガーデン
- 12月20日 シティー情報ふくおか 取材
場所：北九州市立総合療育センター
- 12月22日 日本作業療法士協会 学会運営委員会 出席
場所：日本作業療法士協会 事務所
- 12月25日 読売広告社 取材
場所：北九州市立総合療育センター



【はじめに】

人間作業モデル(Model of Human Occupation, 以下MOHO)は, Mary Riellyの作業行動理論を基盤として, Gary kielhofner(2010.9.2逝去)によって1980年に発表されました. 作業に焦点をあてた, クライアント中心の作業療法独自の実践理論として国際的な批判と吟味を繰り返されながら精密化され, 様々な評価法も開発されています. 日本では, Kielhofnerと同窓生である山田孝教授(目白大学大学院教授, 首都大学東京名誉教授, 日本作業行動学会会長)により1980年代後半に紹介され, 日本作業行動学会の活動とともに, 多くの作業療法士が臨床実践に役立っています. また, 健康高齢者の健康増進プログラム(65歳大学)²⁾³⁾や脳卒中維持期の作業療法についてのエビデンス⁴⁾, 認知症高齢者の絵カード評価法の開発⁵⁾など様々な研究も行われています. 理論的位置づけとしてはグランド理論に相当し, アメリカでは, ランダムサンプリングによる全国調査において, 作業療法士の80%が自分の実践に使っていることが報告されています. また, 平成25年11月に中央社会保険医療協議会(厚生労働省)により示された統合失調症と気分障害のクリティカルパスの例では, 作業療法の評価として, MOHOの代表的な評価法である「作業に関する自己評価改訂版(Osa II)」が明記されています⁶⁾. MOHOは, 他の作業療法のモデルや学際的概念(生体力学モデルや運動コントロールモデル, 感覚統合理論や精神分析モデルなど)と一緒に使われることを意図しています¹⁾.

今回は, MOHOの概要について簡単に紹介します. 自分自身やよく知っているクライアントをイメージしながら読むと, より理解しやすいと思います. なお, 福岡県では年1回の講習会や年4~5回の九州MOHO事例検討会などが開催されていますので, 是非一度ご参加下さい. 平成26年度日本作業療法学会学術集会も福岡市にて開催が決定しています(平成26年9月頃).

講習会などの情報は日本作業行動学会HPにて検索することができます(<http://www.jsrob.org>).

なお, ダイレクトメールをご希望の方は, k-aoyama@asojuku.ac.jpにご連絡下さい.

【人間作業モデルの概要】

1. 人間作業モデルの概要

MOHOは, 作業に焦点をあてたクライアント中心の実践のガイドラインを提供する概念的モデルとして作られています. MOHOは, ①人の作業がどのように動機付けられ, 日常生活のパターンへとどのように組み立てられ, そして, どのような環境の中でどのように遂行されるか, ②作業上の問題を作り出す機能障害, 疾病, その他の要因に直面した時に何が起こるのか, ③作業療法は, 意味と満足をもたらし, そして身体的および感情的に良好な状態を支援する作業に, 人々をどのように就かせることが出来るのかについて説明してくれます. また, どのようなことに焦点を当て介入することで, クライアントが変化するのか, 治療的戦

略とともに説明してくれます。

2. 基本的概念

1) 人間作業とは

人間の生活の特徴づける時間的、物理的、社会文化的な流れの中で行う、仕事、遊び、日常生活活動とされています。**仕事**とは、仕事や勉強、自分の生活のために何かを作り出したり、社会や他者に貢献する作業(勤労者・主婦・ボランティア・学生・役割・趣味人)のことです。**遊び**とは、自分自身のために自由に行われる活動で、ゲームやスポーツ、趣味などが含まれます。**日常生活活動**は、身繕い、食事、入浴、家の掃除、洗濯などの身辺処理と自分を維持するために求められる典型的な生活課題のことです。これらの作業は、その作業を行う人や状況によって仕事にも、遊びにも、日常生活活動にもなります。

MOHOではこれらの作業が、どのように動機付けられ、パターン化され、どのような環境で遂行されるのかについて、以下のように概念化しています。

2) 意志

意志とは作業に対する動機をさします。自分にとってどれだけ大切で、興味があって、遂行するために必要な能力をどの程度持っていて、どの程度うまく行うことができそうかという、自分に関する考えと感情をさします。意志は、個人的原因帰属、価値、興味からなります。

①個人的原因帰属

身体的、精神的、社会的にどの程度の能力を持っているのかという自己評価(有能性)と、自分の能力を使ってどの程度うまくできそうかという自己効力からなる複合的感覚です。疾病や機能障害を抱える

と、個人的原因帰属は一般に低下すると言われています(時に過大評価しすぎるケースもあります)。

②価値

自分にとって何が良く、正しく、どの程度重要かという個人の信念です。自分にとって何が重要で問題なのか(正しいのか)という個人的確信と、何をどのようにしなければいけないかという義務感につながります。機能障害や疾病は、価値をおく作業を遂行することを妨げ、結果として自尊心の低下に関わります。また、「この程度でいいや」「こんな状態だからしなくてもいいや」という過去の価値の“引き下げ”や喪失へとつながりやすいと言われています。

③興味

どのようなことに楽しみや満足を見出しているのかということです。機能障害や疾病は、興味を反映した作業の遂行を妨げ、生活における満足や喜びに影響します。見落とされがちですが、興味を反映した作業は自分の存在を生き生きさせ、活力と気分を維持するのに必要なものです。

意志(作業に対する動機)は、作業を通して発達します。私たちは、幼い頃から様々な作業を行い、成功したり、失敗したりしながら成長してきました。その過程の中で、自己有能性や自己効力が高まり、価値や興味が形作られてきます。作業を通した、「予想(うまくいきそうか、楽しそうかなど)―選択―経験―

解釈」という過程が意志を発達させると概念化されています。

3) 習慣化

私たちは、様々な環境で、自分が日課としていたり役割にしていることを効率良く効果的に遂行しています。そのように、作業(日課や役割)の行い方は、その人の時間的、物理的、社会文化的な流れの中で、半自動的に首尾一貫したパターンとして内在化されています。そのような準備状態を「習慣化」として概念化しています。

① 習慣

慣れ親しんだ環境や状況の中で、一定の首尾一貫した方法で自動的に反応したり遂行したりするために獲得された傾向のことです。日常の様々な日課や課題の行い方はパターン化されています。だからこそ、“ながら作業”が可能となります。また、1日、1週間に行う作業は一定の生活パターンとして定着しています。機能障害や疾病を経験すると、パターンが崩れたり、これまでの効果的で効率的な方法で物事を遂行出来なくなり、生活パターンが変化します。

② 内在化された役割

私たちは、作業療法士、親、恋人、友人などといった様々な役割をもっています。そのような役割は、自分と周囲の見方が一致してはじめて取り入れられ、定着させることが出来ます。また、取り入れられた役割に応じて、振る舞いや態度などを効果的に変化させています。そのように、取り入れられた役割は、私たちが社会の中で効果的に行動するために必要な社会的な態度をもたらします。また、役割は1日や1週間の時間的なサイクル

を作っています。役割も幼少期の遊びから成長や環境の変化に伴い変化し、伝達され社会化されていきます。機能障害や疾病は、このように効果的に取り入れられた役割から人を閉め出したり、遂行することを困難にします(役割を学習する機会がない人もいるかもしれない)。また、その人が望んでいない役割につかせることもあります(患者役割や家庭の中での療養者としての役割など)。

習慣化は、意志と同じように作業を繰り返し行うことで定着して行きます。MOHOでは、日課や課題、役割を「出来る」ようにするという視点だけでなく、その人が生活する環境や状況で「身体的努力なく、効率良く、1人で安全に、上手にできる」ようにパターン化する視点を強調しています。

4) 遂行能力

遂行能力は作業を遂行するための能力をさします。遂行能力は客観的構成要素と主観的経験からなります。ICFでは心身機能・身体構造に該当する概念である。MOHOと組み合わせて用いる他のモデル(生体力学モデルや運動コントロールモデル、感覚統合理論や精神分析モデルなど)が特に強調して説明している領域です。MOHOでは遂行能力を客観的遂行要素と主観的体験が結びつき作業遂行に貢献すると概念化されています。

① 客観的構成要素

筋骨格系、脳神経系、心肺的、その他の身体的システムに基づく能力(心身機能)です。精神機能、認知機能、高次脳機能、感覚機能、神経筋骨

格と運動に関連する機能など、客観的に記述できる能力を客観的構成要素として概念化しています。

②主観的経験

人は、客観的構成要素を機械的に操作して、作業を行っているわけではありません。自分のカラダをどのように感じているか、そして、どのように体験したかによって物事を行う能力は変わります。私たちは、自分のカラダを通して、物事を知り、物事の行い方を知ります。また、物事を知りながら(主観的に体験しながら)、正しい物事の行い方を知ります。例えば、ギターやピアノの弾き方を覚える時、機械として手指や上肢の操作の仕方を身につけているのではなく、ギターの弦の硬さや位置、フレットの間隔、ピアノの鍵盤の硬さや重さ、間隔を主観的に体験しながら身につけているというふうに表現できます。つまり遂行能力は、身体と精神が統一されたものとして説明されています。

5)環境

人が作業にどのように動機づけられるか、どのようにパターン化されるか、どのような遂行能力が必要かは環境の影響を受けます。また、環境は文化の影響を受けています。環境は、物事を選択したり行ったりすることを可能にするための機会や資源を提供すると同時に、行動や選択を制限したりもします。そして、環境によって求められる遂行能力も異なります。MOHOでは、環境を物理的環境と社会的環境に分けて説明しています。

①物理的環境

物理的環境として、空間と対象物とに分類し

ています。空間は、天候や自然も含めた空間だけでなく、学校や病院などの人工的な空間も含まれています。

②社会的環境

社会的環境は、社会的集団や作業形態に分類されています。社会的集団は、人々の集合のことです。具体的には家族や友人、同僚や近所の人などです。作業形態は、「物事を行う慣例的なやり方」です。人が行おうとしている作業の行い方と、その環境の中での作業の行い方にギャップがあると問題が生じてしまいます。また、社会的環境として、「機会」も重要です。行いたい作業をする機会があるかどうかは、社会的な公正さにもつながります。作業科学では、「すべての人々が作業する権利を認め、この権利が侵害されている状態」を「作業的不公正 (Occupational injustice)」として説明しています⁷⁾。

3. 行為のレベルと人間作業のダイナミックス

(図1)

1)行為のレベル

私たちは、日々様々な作業を遂行しながら生活しています。そして、その作業は自分の目標や思い(作業同一性)が反映されています。そのような作業がうまく遂行できていると自分が感じる(作業有能性)時、人は良好な状態を維持できます(作業適応)。人の思いが反映された作業が、何かしらの原因でうまく遂行できない時は作業機能障害となります。作業療法の対象は、そのような作業機能障害に陥っている人たちということになります。作業は様々なレベルで捉えることができ、そのレベル間の関係性を意識することが効果的なプ

ログラムにつながることも説明されています。

①作業参加

最も広い意味での行為で、仕事、遊び、日常生活活動のレベルで就いている作業のことです。私たちに例えると、「作業療法士として日々の業務に就いている」ことをさします。

②作業遂行

作業参加に含まれる、首尾一貫した行い方で遂行される1つ1つの作業のことです。作業療法士として日々の業務を行うためには、クライアントと面接をしたり、評価を行ったり、作業療法プログラム行う必要があります。そのような1つの1つの作業のことことです。

③作業技能

ある作業を遂行するため(目的)に、人が観察可能な様々な合目的的動作のことで、MOHOでは、運動技能、処理(プロセス)技能、コミュニケーションと交流技能として説明しています。あるADL課題を遂行している間に見られる運動技能と処理技能を評価するものとして、AMPS(運動技能とプロセス技能評価)がFisherによって開発されています。また、クライアントにとって意味のある場面の中で見られるコミュニケーションと交流技能を評価するものとして、ACIS(コミュニケーションと交流評価)がForsythによって開発されています。

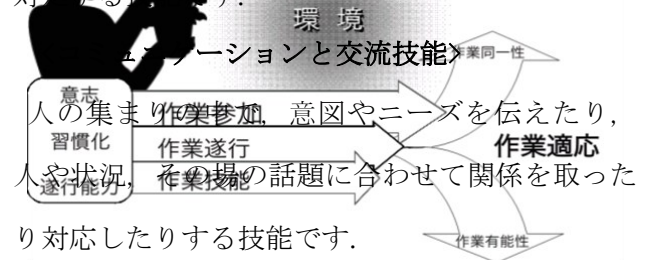
〈運動技能〉

作業を遂行する時の、自分自身や道具や材料などを効果的に操作する技能です。

〈処理(プロセス)技能〉

作業を遂行する際に、動作や行為を効率的、順

序良クライアントに配列したり、適切な道具や材料を選び使ったり、遂行中に起こる問題に適切に対応する技能です。



2) 人間作業のダイナミクス(人の作業遂行をどのように理解のするか)

MOHOでは、人の作業遂行がどのように行われているのか、また、どのように問題を生じさせているのかを理解するためにダイナミックシステム理論を用いて説明しています。先に説明した人の様々な要素が段階的、機械的に関係しているのではなく、各要素がお互い独立しながらも、相互に変化・影響し合いながら作業が選択され、パターン化され、遂行されています。また、ある要素の変化が全体的な変化に転換されていくことを説明しています。

人が作業の問題を考えると、各要素の状態を丁寧にアセスメントすることは大切ですが、各要素がどのように影響し合いながらその問題に繋がっているのかを考えることが全体的理解につながります。つまり、各要素間の循環性・関係性を意識して整理することが作業を理解することにつながります。また、作業を理解することが、その人の生活全体の理解へとつながっていきます。作業療法の介入を考える時、どの要素に焦点をあてた作業への参加を支援して行くことが、各要素の良い循環性を生むのかを考えてプログラムを練っていきます。(どのように評価し、どのように循

環性が説明されているかについては、字数の関係上割愛させていただきます。詳細は講習会や事例検討会などをご活用下さい)

<図1 作業適応の過程(MOHOの全体図と行為のレベル)>

【おわりに】

MOHOの概要として、基本的概念と行為(作業)の

医療法人恵愛会 福岡病院

【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 常勤
【給 与】 月額 213,000円 ~
(実務経験を加味し算定します)
【賞 与】 年2回(7月・12月)
【勤務時間】 8:30~17:00(休憩50分)
【休 日】 土、日、祝(週休二日制)
【福利厚生】 社会保険完備、有給休暇、
リフレッシュ休暇、旅行等のレクリエーション
【その他】 交通費(規定あり)、マイカー通勤(規定あり)
【備 考】 入院OT部門での業務です。
【連絡先】 〒811-3295
福岡県福津市花見が浜1-5-1
TEL: 0940-42-0145
FAX: 0940-42-7181
担当者: 坪井

レベル、作業遂行のダイナミックスについて紹介

ライズケアセンター

【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 正職員
【給 与】 210,000円~ ※経験者優遇
【賞 与】 年2回支給
【勤務時間】 8:30~17:30(休憩60分)
【休 日】 週休2日制(日曜固定・他)、年末年始
【福利厚生】 各種保険完備・退職金制度あり
【その他】 交通費支給
【備考】
☆リハビリ特化型デイサービスとして、宗像市に3店舗・
古賀市に1店舗展開。
☆若いスタッフが多く、非常に活気のある施設です。
【連絡先】
福岡県宗像市東郷126-4
Tel: 0940-39-3309 Fax: 0940-39-3310
Mail: h.kinoshita@rise-info.com 担当: 木下博光

しました。次回は、MOHOに基づいた私の作業療法

九州大学病院

【募集職種】 作業療法士(身障OT部門)
【募集人員】 1名(新卒以外)
【雇用形態】 有期契約
(3年を限度とし、以後更新あり)
【給 与】 当院規定による
【応募締切】 2014年1月31日 17時
【勤務開始】 2014年4月1日
【勤務時間】 8:30~17:15 週38, 75時間勤務
【休 日】 土日祝日(週休二日制)
【福利厚生】 期末・勤勉手当、住居手当、通勤手当、時
間外手当、退職手当等、有給休暇、社会保険等
【備考】 詳細は、病院HP参照して下さい。
【連絡先】 〒812-8582
福岡県東区馬出3丁目1番1号 九州大学病院総務課
人事係 担当: 安河内 TEL: 092-642-5024
(注) 郵送する場合は、必ず「簡易書留」とし、封筒表面
に「作業療法士応募書類在中」と朱書きして下さい。
見学・上記内容の質問等の問い合わせ
担当: 藤田 E-Mail: afujita@reha.med.kyushu-u.ac.jp
迄。

実践と九州MOHO事例検討会について紹介したいと

平成25年度 第4回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 日 時 : 平成25年10月7日(月) 19時00分～23時00分
- II. 場 所 : 株式会社 らそうむ スポーツガーデン
- III. 理事総数 : 20名
- IV. 出席理事数 : 18名
- V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 丹羽敦, 深町晃次,
田中真純, 菅沼一平, 榎本孝史, 濱本孝弘, 佐藤稔, 手島智康,
轟木健市, 大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男, 大社学美, (以上, 理事) .
吉田秀樹, 原口健三 (以上, 監事) .
鐘ヶ江秀俊, 藤崎実知子 (以上, 事務局)
- 欠席者氏名 : 福田裕樹, 中山仁 (以上, 理事) 田邊慎一 (以上, 事務局) (敬称略)
- VI. 議長選任
定款第32条に基づき, 議長に志井田代表理事を選任した.
- VII. 審議事項
1. 教育部研修会講師について
白山教育部担当理事から, 以下のように研修会講師を依頼することが報告され, 経験等講師要件を満たすことが確認され承認可決された.
松元義彦先生(鹿児島赤十字病院 OT) 身体障害分野研修会
 2. 福岡ブロック研修会講師について
大社福岡ブロック担当理事から, 以下のように研修会講師を依頼することが報告され, 経験等講師要件を満たすことが確認され承認可決された.
菅沼一平先生(今津赤十字病院 OT) 認知症高齢者に対する作業療法の実践
武田実先生(川崎病院) 橈骨遠位端骨折に対するアプローチ
原真理子先生(国際医療福祉大学) 高次脳機能障害の画像からの分析
 3. 北九州ブロック研修会講師について
玉野北九州ブロック担当理事から, 以下のように研修会講師を依頼することが報告され, 経験等講師要件を満たすことが確認され承認可決された.
大庭潤平先生(日本作業療法士協会 理事) 北九州ブロック研修会
石渡充先生(芳野病院 OT) 八幡東・戸畑・若松エリア研修会
井上勲先生(福岡青洲会病院 医師) 八幡西・遠賀・中間エリア研修会
 4. 正会員の休会制度の創設について
志井田代表理事から, 第3回理事会において継続審議とされていた県協会の休会制度創設について提案があった. 課題として挙げられていた休会制度における正会員の権利について, 吉田監事の助言もいただき検討, 休会中は代議員の選挙権は認められるが被選挙権は認められないということとした. 平成26年度より開始する予定で準備を進めることが定款第29条に基づき承認可決された.
 5. 平成25年度 福岡県三団体合同訪問リハビリテーション研修会講師について
福田保険委員会担当理事から, 以下のように研修会講師を依頼することが報告され, 経験等講師要件を満たすことが確認され承認可決された.
山口勝也先生(日本言語療法士協会理事) 摂食嚥下障害のリスク管理
毛利雅英先生((有)愛媛生活リハビリケア研究所 OT) 訪問リハの実際
宇田薫先生(大浜第一病院訪問リハビリテーションOT) 失敗に学ぶ訪問リハの裏御法度
藤川仁先生(健康リハビリテーション内田病院 ST) シンポジウム シンポジスト

6. 福岡県介護実習普及センターからの講師派遣依頼について
田中渉外部担当理事から、福岡県介護実習普及センターからの講師派遣依頼について依頼件数が増えており現在対応している講師の人数では対応が困難になってきている現状の報告があった。また急な派遣依頼もあることから、理事会の承認を得る時間がないため新たな派遣講師の選任等を田中渉外部担当理事に一任し後日理事会で報告することで承認可決された。
7. 大牟田市介護予防ケアカンファレンスにおける派遣依頼について
轟木筑後ブロック担当理事から、大牟田市より介護予防ケアカンファレンスへの県協会会員の派遣依頼があったことが報告された。筑後ブロックから介護保険に精通したOTを派遣することが承認可決された。
8. 直方鞍手地区在宅医療推進に係わる地域リーダーの推薦依頼について
平岡筑豊ブロック担当理事から、直方鞍手医師会より標記事業への県協会会員の推薦依頼があり、筑豊ブロックより山本めぐみ氏（訪問看護ステーションあおぞら）を推薦することが提案され承認可決された。
9. 「福岡市障がい者差別禁止条例を作る会」活動への協力金拠出について
竹中業務執行理事から、福岡市障がい者関係団体協議会より標記活動への参加要請及び協力金3,000円／年（一口）の拠出依頼があったことが報告された。団体設立の趣意なども含めて検討し、協力金一口を拠出することが定款第38条により承認可決された。
10. 戸畑区リハビリテーションフェアへの講師派遣について
玉野北九州ブロック担当理事から、北九州市より標記活動への講師派遣依頼があり、宮本香織氏（アクティブ応援館かめsun OT）を派遣することが報告され承認可決された。
11. 全国ふうせんバレーボール大会への会員派遣について
玉野北九州ブロック担当理事から、全国ふうせんバレーボール大会（平成25年11月10日開催）より出場者運動能力レベル判定及び試合進行の補助員として会員派遣依頼があり、大会ルール及び判定基準等の講習を受けた会員を派遣することが報告され、承認可決された。
12. 会員の入退会について
中川事務局長から、会員の入退会について報告があった。平成25年8月1日から平成25年9月30日までの間に55名の入会があり定款第7条に基づき入会が承認可決された。また、7名の退会があり定款第9条に基づき退会が承認可決された。

VIII. 協議事項

1. 次期・次々期学会準備委員会の同時進行について
丹羽学術部担当理事から、学会準備委員会の立ち上げ時期について、現在は開催年度の4月としているが講師依頼など準備が難しくなっているとの報告があった。そこで開催年度前年の10月より立ち上げ、次期・次々期準備委員会を同時進行することで対応していきたいとの提案があり協議の結果承認可決された。
2. 部・委員会の業務分担の見直しについて
志井田代表理事から、現在各部・委員会において重複して行われている事業があるため整理する必要があることが報告され、協議の結果業務分担を明確にできるよう各理事間における調整のみでなく三役で方針を継続検討していくこととなった。
3. 研修会・事業などの開催中止について
白山教育部担当理事から、研修会及び公益事業などの開催が気象条件や講師の都合などにより中止（延期）される際の参加者への通知とその後の対応に関して提案があった。協会ホームページにおける通知の方法や延期の場合の参加費の取扱いなどについて、事務所・広報部・教育部を中心に運営の詳細を継続検討していくこととなった。

IX. 報告事項

(代表理事より)

代表理事行動（平成25年8月～平成25年9月）

平成25年度第3回日本作業療法士学会運営委員会 出席
平成25年第3回公益社団法人福岡県作業療法協会理事会 出席
公益社団法人福岡県社会福祉士会設立20周年記念式典 出席
平成25年度「作業療法の日」朝日広告記事 打ち合わせ

以下の新聞の掲載に対して県協会の広告掲載した。

「産業医科大学若松病院の広告記事」9月20日号 九州医事新報社
「作業療法の日特集」9月23日朝日新聞に掲載 朝日新聞広告社
「やすらぎ荘支援広告記事」9月30日掲載 西日本新聞広告社

(業務執行理事より)

福岡市障がい者差別禁止条例を作る会発足会（平成25年8月31日開催）に出席。（竹中業務執行理事）

公益社団法人福岡県介護福祉士会「第18回九州ブロック研修大会inふくおか」（平成25年10月25日開催）及び公益社団法人北九州高齢者福祉事業協会「介護の日」講演会（平成25年11月8日開催）に出席予定。（座小田業務執行理事）

(各部・委員会より)

〈教育部〉

第1回現職者共通研修は台風の為開催を延期した。平成26年2月15日（土）午前中（会場 北九州国際会議場）に開催変更を予定している。

〈学術部〉

第18回福岡県作業療法学会開催の進捗状況について報告。北九州市の共催が決定した。講師1名の変更及びタイムテーブルの完成について報告があった。

〈渉外部〉

飯塚市高齢者対策推進協議会出席（8月29日）。
飯塚市地域連携協議会 出席（9月18日）。
福岡県介護実習普及センター 福祉用具研修会 講師派遣（9月24日）

〈広報部〉

作業療法記事シティ情報掲載のタイムスケジュールについて報告。10月中に原稿を作成、構成など確認の上2月に発行予定。

〈保険委員会〉

保健委員会主催研修会について、平成25年12月15日開催予定。テーマ「次期診療報酬改定に向けた協会活動と今後の動向」講師 梶原幸信先生（伊東市民病院 OT）

〈企画委員会〉

西日本福祉機器展2014（11月22日23日24日開催）のブース出展への準備状況について報告。近日中に会員に対してボランティア募集する。作業療法啓発を目的にトートバッグ・クリアファイル（協会ネーム入り）を一般来場者に配布予定。来年度より西日本福祉機器展へのブース出展については出展料が発生する。

(各ブロック担当理事より)

〈筑後ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催

活動予定－事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

〈福岡ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，広報誌発行，県民健康づくりセミナー

〈福岡東ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，現職者共通研修事例報告会開催，研修会開催

活動予定－事業企画会議開催，研修会開催

バリアフリーアドバイザー事業への派遣を行った。

〈筑豊ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，

活動予定－事業企画会議開催，研修会開催

〈北九州ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

X. 次回開催日

平成25年度 第5回理事会

平成25年12月2日（月）19：00～ 場所：株式会社 らそうむ スポーツガーデン

医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス（福岡県福岡市）
大川キャンパス（福岡県大川市）

【医療福祉学研究科】

修士課程

保健医療学専攻

医療福祉経営専攻

臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

●看護学分野 ●ナースプラクティショナー養成分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野
●作業療法学分野 ●言語聴覚分野 ●視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野
●リハビリテーション学分野 ●放射線・情報科学分野 ●生殖補助医療胚培養分野
●医療経営管理分野 ●診療情報アナリスト養成分野 ●医療福祉国際協力学分野
●先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
●医療福祉ジャーナリズム分野

●看護学分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野 ●作業療法学分野 ●言語聴覚分野
●視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野 ●リハビリテーション学分野
●放射線・情報科学分野 ●生殖補助医療胚培養分野 ●医療福祉経営学分野
●診療情報管理・分析学分野 ●医療福祉国際協力学分野
●先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
●医療福祉ジャーナリズム分野 ●医療福祉心理学分野

【薬科学研究科】

修士課程

生命薬科学専攻

【薬学研究科】

博士課程

医療・生命薬学専攻

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものもございますので、詳細につきましては、お問い合わせ下さい。※短大卒・3年制専門学校卒で進学可能（修士課程）



- ◆ 社会人の方も働きながら無理なく受講できます
- ◆ 一流教授陣の講義をリアルタイムで受講できます
- ◆ 研究者志向の方のニーズにも対応できます

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

福岡天神キャンパス

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜 1-3-1
TEL 092-739-4321 E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp

（平成25年4月より下記に移転予定）

福岡県福岡市早良区百道浜 3-6-40（福岡国際医療福祉学院内）

大川キャンパス

〒831-8501 福岡県大川市榎津 137-1
TEL 0944-89-2000 E-mail oocamp@iuhw.ac.jp

HP <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

- 【募集職種】 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士
 【雇用形態】 ①正社員 ②非常勤
 【給 与】 ①月給300,000円～＋実績手当
 ②歩合制（1件40分 3,040円など）
 【勤務時間】 ①②とも、ご自身でスケジュール立案可能
 例）9:00～18:00（月・火・水・木・金）
 9:00～16:00（月・火・木） など
 【休 日】 週休2日制（自身で休日設定可能）
 【福利厚生】 各種保険完備・退職金制度あり
 【勤務地】 大阪府下全域を対象に、訪問エリアの選定可
 ※ご利用者宅へ直行・直帰可
 例）大阪府中央区在住→エリア：中央区・西区
 交野市在住→エリア：交野市・門真市 など
 【備考】 大阪で活動している事業所です。大阪への転職を考えている方は、是非一度お問い合わせください。
 【連絡先】 TEL:06-6531-3505（人事部：中道）
 住所：大阪府大阪市西区南堀江1-16-15
 HP: <http://www.kanaerulink.co.jp/>

小倉記念病院

- 【募集職種】 作業療法士（新卒・既卒）
 【募集人員】 若干名（体制強化のため増員募集）
 【雇用形態】 正職員
 【給 与】 基本給210,000～240,000円（経験加算あり）
 【賞 与】 年2回 5.5ヶ月（H24年度実績）
 【勤務時間】 8:10～17:00（実働7時間50分）
 【休 日】 土・日・祝・夏期・年末年始
 年間休日123日
 【福利厚生】 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
 年次有給休暇・特別休暇・退職金制度
 職員専用レストラン・職員休憩室利用可等
 【その他】 時間外手当・住宅・扶養・通勤手当等
 【備考】 当院は北九州地域の「地域医療支援病院」として高度医療を提供しています。新病院の充実したリハビリテーション施設で急性期における包括的リハビリテーションを展開しています。採用日応談、施設見学可能です。
 【連絡先】 北九州市小倉北区浅野3-2-1
 電話093-511-2000 FAX093-511-3251 担当：人事課 牟田口（むたぐち）

福岡市医師会 訪問看護ステーション

- 【募集職種】 作業療法士・理学療法士
 【募集人員】 若干名
 【雇用形態】 ①常勤臨時 ②非常勤
 【給 与】 ①時給1,200円＋出勤料500円～1,000円/回
 ＋旅費650円/回
 ②出勤料2,510円～3,560円/回＋旅費650円/回
 【賞 与】 なし
 【勤務時間】 平日9:00～17:00 土曜（隔週）9:00～13:00
 【休 日】 日曜・祝日8/14～8/15・12/30～1/3
 【福利厚生】 各種社会保険完備
 【その他】
 勤務地：博多区千代4-29-24三原第3ビル6F
 中央区大宮1-3-1
 早良区南庄2-12-6
 【備考】 詳細はお問い合わせ下さい
 【連絡先】 住所：福岡市早良区百道浜1-6-9
 電話：092-852-1512
 HP: <http://www.city.fukuoka.med.or.jp/houmon/houmon01.html>
 担当者名：万代（まんだい）、林

久山療育園 重症児者医療療育センター OT・ST募集

- 【募集人員】 作業療法士1名、言語聴覚士1名
 【雇用形態】 正規職員
 【勤務時間】 8:00～17:00
 【休 日】 週休二日制、祝日、年末年始
 【勤務開始】 2014年4月
 【選考方法】 書類選考（小論文）、適性検査の上、面接
 【応募締切】 2014年1月21日（火）
 【採用試験日】 2014年1月28日（火）8:40～
 【応募方法】 担当者まで、電話かメールでご連絡ください。事前見学をお勧めします。詳細は、園ホームページをご覧ください。
 【園ホームページ】 <http://hisayama-smid.jp>
 【連絡先】 久山療育園重症児者医療療育センター
 〒811-2501 福岡県粕屋郡久山町大字久原1869
 【電話】 092-976-2281
 【メール】 bt-hisayama-riha@xqb.biglobe.ne.jp
 【担当者】 リハビリテーション課 課長 金子政彦（OT）

【筑豊ブロック】

1. 事業企画会議

第4回筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成25年10月22日（火） 19：00～21：00 会 場：飯塚記念病院 多目的ホール
参加者：11名

内 容：第6回筑豊ブロック研修会について
事例報告（現職者共通研修）について、
広報誌 筑豊OT TIME 第6号について、他

第5回筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成25年12月10日（火） 19：00～21：00 会 場：飯塚記念病院 多目的ホール
参加者：14名

内 容：筑豊ブロック研修会について
事例報告（現職者共通研修）について、
広報誌 筑豊OT TIME第7号について、他

2. 研修会報告

第5回筑豊ブロック研修会

期日：平成25年 10月 19日 土曜日 14：00～18：00

テーマ：IDストレッチング入門～科学的根拠から臨床応用まで～

講師：中村浩一先生（福岡和白リハビリテーション学院） 会場：飯塚記念病院 多目的ホール
参加者：27名

第6回筑豊ブロック研修会

期日：平成25年12月5日木曜日19:00～21:00

テーマ：地域リハにおける作業を考える～当事者のParticipationに向けて～
“生活再建モデルから生活行為向上マネジメントへ”

講師：手島智康先生（株式会社らそうむ） 会場：飯塚記念病院 多目的ホール
参加者：25名

3. その他

広報誌 筑豊OT TIMES 第6号 10月31日発行

【北九州ブロック】

1. 活動報告

＜北九州ブロック＞

・ブロック企画会議開催

平成25年11月18日（月） 19:00～ 曽根東市民センター 大会議室

・ブロック研修会

日 時：平成25年11月6日（金） 19:00～21:00 会 場：小倉南生涯学習センター 視聴覚室
テーマ：「地域を支える作業療法の実践～生活行為向上マネジメントと地域包括ケアシステムを踏まえて～」

講 師：大庭 潤平氏（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

参加者：62名

・第24回全国ふうせんバレーボール大会

平成25年11月10日（日）

日 時：平成25年11月10日（日） 会 場：北九州市立総合体育館

参加者：18名（HLチェックスタッフ）

・第18回福岡県作業療法学会準備委員会

日 時：平成25年10月23日（水）19:00～ 製鉄記念八幡病院
平成25年11月19日（火）19:00～ 製鉄記念八幡病院
平成25年12月13日（金）19:00～ 小倉リハビリテーション病院

＜小倉北・門司エリア＞

- ・エリア事業企画会議開催
平成25年11月12日（火）18:30～ 北九州中央病院

＜小倉南・京築エリア＞

- ・エリア事業企画会議開催
平成25年11月12日（火）19:00～ 小倉南障害者活動センター
- ・作業療法啓発活動 H25. 11. 2（土） 小倉南区企救丘市民センター
参加者：7名
- ・エリア研修会開催 H25. 12. 8（日）10:00～ 小倉リハ学院
テーマ：「エビデンスのある認知症の作業療法を求めて」
講 師：深町 晃次氏（九州栄養福祉大学）

＜八幡西・遠賀・中間エリア＞

- ・エリア事業企画会議開催
平成25年10月17日（木）19:00～ おんが病院
- ・作業療法啓発活動 H24. 10. 20（日） 「遠賀町健康福祉まつり」に参加 参加者：3名
- ・エリア研修会開催 H25. 11. 14（木）19:00～ 水巻中央公民館 視聴覚室
テーマ：「脳画像について」
講 師：井上 勲氏（福岡青洲会病院 医師） 参加者：66名

＜戸畑・若松・八幡東エリア＞

- ・エリア事業企画会議開催
平成25年11月5日（火）18:30～ あやめの里
- ・エリア研修会開催 H25. 11. 22（金）19:00～ 戸畑リハビリテーション病院
テーマ：「症例検討（グループディスカッション）」
講 師：石渡 充氏（芳野病院）
参加者：37名

【筑後ブロック】

理事

1. 報告事項：理事会報告（10月, 12月）

A地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) A地区事業企画会議

- ①日時：平成25年10月16日（水）
- ②場所：高良台リハビリテーション病院
- ③出席者：江口智則, 石井孝昌, 國崎啓介, 古賀英教, 中島龍彦〈敬称略〉
- ④内容：A地区研修会について, 事例検討会について

(2) A地区研修会

- ①テーマ：日本作業療法士協会生涯教育制度
～基礎教育から専門作業療法士取得研修の流れまで～
- ②講師：松田隆治（熊本総合医療リハビリテーション学院）〈敬称略〉
- ③日時：平成25年10月26日（土）
- ④会場：久留米リサーチパーク研修室A
- ⑤参加者：9名

(3) 筑後ブロック（A地区）現職者共通研修 事例検討報告会

- ①日時：平成25年11月15日（土）
- ②会場：久留米大学医療センター

③参加者：発表者5名, 聴講者13名

④座長：福田賢二（高良台リハビリテーション病院）, 長野剛（高良台リハビリテーション病院）〈敬称略〉

B地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 第4回B地区事業企画会議

①日時：平成25年8月26日（月）

②場所：九州ホームケアサービス株式会社

③出席者：中原徳郎, 大村洋介, 権藤昭雄（講師）〈敬称略〉

④内容：講師打ち合わせ, 会場確認, 今後のスケジュールについて.

(2) 第5回B地区事業企画会議

①日時：平成25年10月3日（木）

②場所：介護老人保健施設のぞみ船小屋

③出席者：中原徳郎, 大村洋介, 山下和希, 布川未来, 木村有希

④内容：地区研修会について, 地区交流会について

(3) 第6回B地区事業企画会議

①日時：平成25年11月18日（木）

②場所：介護老人保健施設のぞみ船小屋

③出席者：中原徳郎, 大村洋介, 山下和希, 布川未来, 木村有希〈敬称略〉

④内容：地区研修会反省について, 地区交流会について, 事例検討会について

(4) 第7回B地区事業企画会議

①日時：平成25年11月30日（土）

②場所：ル・シェル

③出席者：中原徳郎, 大村洋介, 山下和希, 布川未来, 木村有希〈敬称略〉

④内容：地区交流会について, 事例検討会について, 来年度予算, 活動計画について

(5) B地区研修会

①テーマ：軟骨形成不全症患者の在宅復帰に向けた環境整備支援
～私の失敗事例から～

②講師：権藤昭雄（九州ホームケアサービス株式会社 代表取締役社長）〈敬称略〉

③日時：平成25年10月25日（金）

④会場：石橋文化会館共同ホール

⑤参加者：OT44名

(6) B地区交流会

①日時：平成25年11月30日（土）

②会場：和洋居酒屋ダイニング ル・シェル

③参加者：38名

2) 活動予定

(1) 筑後ブロック（B地区）現職者共通研修 事例検討報告会

①日時：平成26年1月16日（水）

②会場：久留米リハビリテーション学院

C地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) C地区事業企画会議

①日時：平成25年9月2日（月）

②場所：天領病院

③出席者：澤田剛, 森健一朗, 末藤優介, 川田隆士, 上村佳代, 荻島秀顕〈敬称略〉

④内容：代表者会議伝達（8月）, 筑後ブロック全体研修会最終確認,
筑後ブロック（B地区）現職者共通研修 事例検討報告会の役割分担について

(2) 筑後ブロック全体研修会

①テーマ：退院（退所）後の住宅改修も含めた福祉用具のプランニングについて

～基本的な知識と考え方～

②講師：河添竜志郎（株式会社くすま 代表取締役 理学療法士）〈敬称略〉

③日時：平成25年9月8日（日）

④会場：帝京大学福岡医療技術学部

⑤参加者：60名（OT43名, PT6名, CM6名, 一般5名）

(3) 筑後ブロック（C地区）現職者共通研修 事例検討報告会

①日時：平成25年10月17日（木）

②会場：帝京大学 福岡医療技術学部

③参加者：発表者4名, 聴講者8名, 見学者24名

④座長：川田隆志（サンファミリー）〈敬称略〉

(4) C地区交流会

①日時：平成25年11月29日（金）

②場所：居酒屋 壮

③参加者：17名

2) 活動予定

(1) C地区事業企画会議

①日時：平成26年1月

②場所：天領病院

D地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 地区研修会

①テーマ：うつ病の診断と治療

～基礎からトピックスまで～

②講師：内野俊郎（久留米大学医学部 神経精神医学講座 講師）

③日時：平成25年10月25日（金）

④会場：甘木中央病院

⑤参加者：35名（OT29名, Ns2名, 介護4名）

2) 活動予定

(1) D地区事業企画会議

①日時：平成26年1月10日（金）

②場所：甘木中央病院

(2) 筑後ブロック（D地区）現職者共通研修 事例検討報告会

①日時：平成26年2月7日（金）

②会場：甘木中央病院

教育(筑後ブロック)

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 教育部事業企画会議

①日時：平成25年10月4日（金）

②場所：モスバーガー大善寺店

③出席者：中満篤子, 安部久実, 弥永浩一郎, 木村伸一郎

④内容：次年度計画について, 分野別研修会について

(2) 第2回筑後ブロック分野別研修会

①身体障害部門

・テーマ：脳科学の視点から運動学習を考える

～行為の回復に関する神経機構～

・講師：川原大和（筑後市立病院 作業療法士）〈敬称略〉

・日時：平成25年12月1日（日）

・会場：久留米リハビリテーション学院

・参加者：OT17名, 学生4名

②老年期障害部門

- ・テーマ：高齢者の膝のリハビリテーション
- ・講師：関誠（帝京大学 福岡医療技術学部 理学療法学科 准教授）〈敬称略〉
- ・日時：平成25年12月1日（日）
- ・会場：久留米リハビリテーション学院
- ・参加者：OT18名, 学生2名

③精神障害部門

- ・テーマ：力動精神医学から考える作業療法
- ・講師：大丸幸（九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 九州栄養福祉大学大学院 健康科学学部 作業療法学科教授）〈敬称略〉
- ・日時：平成25年12月1日（日）
- ・会場：久留米リハビリテーション学院
- ・参加者：OT17名, 学生18名

④発達障害部門

- ・テーマ：発達障害の新しい概念と療育, 支援
- ・講師：松石豊次郎（久留米大学医学部小児科 主任教授）〈敬称略〉
- ・日時：平成25年12月1日（日）
- ・会場：久留米リハビリテーション学院
- ・参加者：OT17名, 学生17名

2) 活動報予定

(1) 平成26年度分野別研修会開催予定日を以下の日程にて検討中

- ①第1回：平成26年7月13日（日）
- ②第2回：平成26年12月7日（日）

会計

1. 報告事項

- 1) 中間決算報告について
- 2) 補正予算について
- 3) 仮払い申請の徹底依頼について（各地区の会計への依頼）
- 4) 平成26年度予算報告

広報（筑後ブロック）

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 広報戦略について

- ①フェイスブックの研修会の情報提供について
- ②フェイスブックでの筑後ブロック主催の研修会の告知, 報告について
- ・事前の告知について*以下のフォーマットを参照し掲載していく

【テーマ】【講師】【場所】【時間】【参加費】

*その他, 研修会自体のURL・概要・研修会の魅力があれば紹介掲載予定

③研修会後の報告について

- ・画像や, 参加者からの感想, その他の意見があれば掲載予定
- ④フリーペーパーの活用案・今後の活動概要(目的・方針・組織編成等)について検討中
- ⑤発信していく情報について検討中
- ⑥フェイスブックについて概要, 使用方法を説明し実践する

⑦フェイスブックの広報について

- ・協会の研修会や懇親会にてフェイスブックの「いいね」ボタンを押してもらう活動を実施中
- ・「いいね」数：160（*平成25年11月30日までの投稿閲覧497）
- ・フェイスブックを広げる手段として, 筑後ブロック知人に筑後ブロックを招待するように依頼することで筑後ブロックの広報を確立していく。

事務（筑後ブロック）

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 第4回筑後ブロック事業企画会議（代表者）

①日時：平成25年10月21日（月）

②場所：高良台リハビリテーション病院

③出席者：轟木健市, 永田敬生, 木村真弓, 古賀昭彦, 岩佐親宏, 中満篤子, 江口智則,
中島龍彦, 中原徳郎, 澤田剛（敬称略）

④内容：筑後ブロック協議事項検討, 活動報告, 活動予定について

(2) 第5回筑後ブロック事業企画会議（代表者）

①日時：平成25年12月16日（月）

②場所：高良台リハビリテーション病院

③出席者：轟木健市, 永田敬生, 岩佐親宏, 江口智則, 中島龍彦, 中原徳郎, 澤田剛（敬称略）

④内容：筑後ブロック協議事項検討, 活動報告, 活動予定について

2) 活動予定

(1) 第6回筑後ブロック事業企画会議（代表者）

①日時：平成26年2月17日（月）

②場所：高良台リハビリテーション病院

【教育部】

1. 主催研修会開催報告

1) 老年期分野研修会

日時：平成25年10月6日（日） 10:00～14:50

会場：小倉リハビリテーション学院

テーマ：『対象者を支える本当の意味の連携について』～作業療法士の技を活かして～
シンポジウム（講師）

①『ヘルパーの立場から』 松尾 孝子（JAむなかた介護ステーション 介護福祉士）

②『OTの立場から』 松尾 謙一郎（宮田病院 OT）

③『作業によってつながるもの, つなげていくもの』

酒井 久仁子（有料老人ホームラディアむなかた ケアマネージャー）

*司会 谷川 良博（広島都市学園大学 OT）

・『自助具, 福祉用具の紹介～連携』 峯 浩一（遠賀中間医師会おかがき病院 OT）

・『生活を見る視点・在宅を支えるアイデア』 安永 昌徳（介護老人保健施設宗像アコールOT）

参加数：37名（OT）

2) 身障分野研修会

日時：平成25年11月3日（日） 9:30～16:00

会場：福岡国際医療福祉学院

テーマ：『OTと自助具の関わりについて』

講師：松元 義彦（鹿児島赤十字病院 OT）

参加数：41名（OT）

3) 第2回現職者共通研修

日時：平成25年11月9日（土）14:00～17:10

会場：福岡和白リハビリテーション学院

テーマ & 参加数 & 講師：

区分1 ①作業療法生涯教育概論 48名

療養介護授業所ひなた家 鐘ヶ江 秀俊, 国際医療福祉大学 有久 勝彦

②職業倫理 53名

良創夢リハビリの森デイサービスセンター 手島 智康

区分2 ①作業療法の可能性 25名

タキ商会 瀧 美奈子

②事例報告と事例研究 22名

麻生リハビリテーション大学校 青山 克実

区分3 ①保健・医療・福祉と地域支援 42名

健康リハビリテーション内田病院 梶井 剛士

②実践のための作業療法研究 39名
区分4 ①日本と世界の作業療法の動向 31名
②作業療法における協業・後輩育成 27名

九州栄養福祉大学 佐野 幹剛
九州栄養福祉大学 大丸 幸
福岡和白リハビリテーション学院 太田 研吾

2. 今後の主催研修会予定（日程・会場）

1) 分野別研修会

地域分野研修会：応用編：H26. 1. 26（日） 福岡医健専門学校

2) 生涯教育制度関連研修会

① 現職者共通研修：H26. 2. 15（土） 北九州国際会議場

② 現職者選択研修：発達分野：H26. 1. 19（日） 麻生リハビリテーション大学校

【広報部】

平成25年12月20日、シティ情報ふくおかの取材が行われました。取材テーマは「生活を支える作業療法ってどんなお仕事？」です。福岡県作業療法協会の志井田太一会長に作業療法を取りまく社会情勢を踏まえつつ、作業療法の仕事内容について説明していただきました。また福岡リハビリテーション病院にも取材の協力をしていただき、若手、ベテランOTに作業療法や患者（利用者）様に対する熱き思いを語っていただいています。

今回の取材はシティ情報ふくおかの別冊に掲載され、2月28日に発売される予定です。企画の最大の目的は一般の方（作業療法を必要としている方やその家族介護者）に向けた作業療法の啓発です。会員の皆さまも読んでいただくとともに、周囲への啓発のご協力をぜひとも宜しくお願い致します。

シティ情報ふくおかwebサイト <http://www.fukuoka-navi.jp/>



【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催：10月17日、11月12日、12月10日
2. エリア会部
エリア会
(1)城南区・早良区・西区・前原エリア会
日時：12月2日 19：00～20：30
会場：福西会病院
内容：「クリニカルクラークシップについて」
講師：日高先生（福岡リハビリテーション専門学校）
参加：28名
事例検討・報告会
日時11月29日（金） 19：00～20：30
会場：麻生リハビリテーション専門学校
発表：5名 聴講：19名
3. 広報部
「Joy Style 秋号」発行
福岡県作業療法協会ホームページよりFacebookなどへ繋がるシステム作り実施中。
4. 教育学術部
 - 1) 「認知症高齢者に対する作業療法の実践」
日時：平成 25 年 10 月 25 日（金） 19：00～20：30
会場：あいあいセンター 7 階講堂
講師：菅沼 一平先生（今津赤十字病院）
参加：72 名
 - 2) 「橈骨遠位端骨折に対する作業療法」
日時：平成 25 年 12 月 4 日（水） 19：00～20：30
会場：麻生リハビリテーション大学校（8 階 講堂）
講師：武田 実先生（川崎病院）
参加：57 名
5. その他
 - 1) 国民医療を守るための福岡総決起大会 参加
日時：平成25年12月18日（水） 18：00～
会場：福岡県医師会館
主催：福岡県保健・医療・福祉推進協議会

福岡県作業療法協会身障分野研修会企画 自助具・装具について アンケート報告

拝啓、皆様方に於かれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年度の身体障害分野研修会では自助具をテーマに11月3日に行いました。研修会に際し、事前のアンケート調査を実施し、県士会員の装具・自助具に関する実態と問題を知ることができました。アンケート結果は、研修会にて報告しましたが、研修会に参加できなかった方にも結果を報告すべくHP・会報誌にて掲載します（福岡県作業療法協会TOPページ→News(会員用)）。

御協力について御礼申し上げます。

医療法人社団 高邦会 柳川リハビリテーション病院 近藤 沙和

はじめまして。医療法人社団 高邦会 柳川リハビリテーション病院の近藤沙和と申します。今回このような機会を頂きありがとうございます。この機会に、少しでも皆様方に当院について知って頂けたらと思っています。

当院がある柳川市は、市全体に「堀」が大規模に巡る「水郷のまち」と言われています。堀にはどんこ舟が行きかい、市内には昔ながらの街並みが多く残っていることで、観光に来られる方も多いようです。そのような環境にある当院は、全国に病院・施設などを有している高邦会グループの1つです。3,640坪の広大な敷地に、240床のリハビリテーション専門病院とリハビリテーション学院が併設されています。平成2年に開院以来、リハビリテーション専門病院としての役割を担ってきました。当院の理念として、1. 安全・確実な医療、2. 質の高い医療、3. 温かい医療を掲げ、「地域に開かれた病院」「人と和とチームワーク」を大切に患者さん中心の病院づくりを目指し、地域医療発展のために最善を尽くしています。

リハビリテーション部は、PT45人、OT34人、ST19人と計98人の大所帯となっています。一般病棟・回復期リハ病棟・神経難病病棟があり、それぞれに専従セラピストがいますので、個々の毎日の変化を確認しながら自宅退院に向けた介入やQOLに対しての関わりを行っています。

私はその中でも、小児リハビリテーション専従として毎日を過ごしています。小児リハは外来診療のみで対応しているので、私は入院の方は担当していません。現在の担当人数は20人程度でCPを中心に様々な疾患と幅広い年代の子ども達が来院しており、毎日刺激と元気をもらっています。わたしが小児リハに関わって行くようになったきっかけは、入職してから1年間臨床に関わっていく中で「何か新しいことにチャレンジしたい!」と考えたからです。その時に、小児チームのセラが子ども達と楽しそうに関わっているのを見て「チャレンジするならこれだ!」と思い、小児チームに入ることになりました。初めは、日々「元気がいいな」「かわいいな」と思いながら関わっていましたが、日が経つにつれて壁に直面することが多くなっていきました。成人と違って目に見えて変化を感じ取って行くことは難しく、「本当にこの子のためになっているのだろうか?」と自問自答し「自分の考え方は正しいのだろうか」という不安の中診療を行っていました。そんな中、あるお母さんから「保育園でこの子だけ飛び箱が出来ないんです」という相談を受けました。その子自身も出来ないとわかっていて様で、見せて欲しいと伝えても「いや」と言うばかりでした。障害を持っていない子の中にも飛び箱を飛ばない子はたくさんいますが、その子にとってはなんで自分には出来ないのだろうと感えているように感じました。そこで問題点を評価し、遊びを通して関わっていく中で、運動会前になんとか飛び箱を飛ばすようになりました。飛べた時のその子の嬉しそうな表情をみて、初めて小児リハをやってよかったと思うことが出来ました。今では、来年の運動会に向けて逆上がりの練習を熱心に頑張っています。

小児チームでの様々な経験から、小児リハは「rehabilitation」ではなく「habilitation」つまり、元の状態に戻すためのリハビリではなく、新たに獲得していくためのものだ実感しました。同時に、一生の生活を通して関わっていくことの難しさを感じています。それでも、現在担当している子ども達が少しでも将来「やりたい!」と思ったことの幅が狭まらないよう、些細な問題であっても介入していく必要があると思っています。

私も早いもので作業療法士として5年目となり、中堅としての役割も増えてきたように感じています。しかし、まだまだ経験も浅いので壁にぶつかるたびに、先輩・後輩方や小児チームのスタッフにフォローして頂くことも多いと思います。それでも、「habilitation」を目指して頑張っていきたいと思っています。



リレーエッセイ

社会医療法人共愛会 介護老人保健施設 あやめの里 都甲 幹太

北九州市にある社会医療法人共愛会介護老人保健施設あやめの里の都甲幹太と申します。当施設は、入所100名、通所定員40名の老健であり、OT 6名、PT 5名が在籍し、お一人お一人の「自分らしい」暮らしを支えるため、様々な支援を行っています。

今回は、貴重な場を頂いたので、最近、私が考えている、ご利用者の方々に作業を提供するにあたって、大切にしたい視点を書かせて頂きます。

私自身の話で恐縮ですが、私はランニングが趣味になりつつあります。ちなみに、そもそもランニングは好きではありません。だって、苦しいですし。

でも、仲間と一緒に練習に行く、ランニング話で盛り上がる、仲間と一緒に大会に出る、「頑張ったね」と賞賛される・・・きっと、ランニングから生まれる人とのつながりに、楽しみ、自分らしさを感じ、やり続けているのだと思います。つまり、私の場合、ランニングはあくまでも手段であり、人とのつながりで生まれる楽しみや充実感を得ることが目的です。

ご利用者の方々も作業をすること自体は、手段の場合が多いように思います。作業の過程や結果で生まれる人とのつながりがとても重要で、これにより、喜怒哀楽が生まれ、心を動かし、自分の存在意義を蘇らせているように感じます。つまり、作業すると言っても、「誰と・誰に対して・何のためにするのか」などの要素が大切であり、これらの要素により、（無意識に）「自分らしさ」を感じるように思います。

作業・畑仕事、編み物、裁縫、手紙を書く、和紙細工、木工、運動、料理、おしゃべり・・・なんでもいいです。様々な素敵な作業と人をつなげ、元気と笑顔が溢れ、「自分らしく」暮らして頂けるように支援することは、私の大切な役割だと思っています。そして、この一連の流れの作業療法が出来た時、私自身も自分らしさを感じます。

毎日、上手くいくことばかりではありませんが、この視点を大切に頑張っていきたいと思っています。



九州旅客鉄道（株） J R九州病院 中村 肇

はじめまして。私は、九州旅客鉄道（株）JR九州病院に勤務しています中村肇です。今回、小倉リハビリテーション学院の同級生である、遠賀中間医師会おかがき病院の善明勇二さんからバトンを引き継ぎました。

私が勤務しているJR九州病院は、大正6年北九州市門司区に門司鉄道病院として開設され、平成元年国鉄の民営化に伴い、J R九州病院に名称が変更となりました。開院から100年が経ち、地域の皆様の健康維持管理を第一とし地域に密着した医療を提供すべく頑張っています。

当院は、総ベッド数256床（急性期病床164床、医療療養病床101床）の病院です。リハビリスタッフはPT9名、OT5名、ST2名、受付1名の総勢17名で、主なOT対象疾患は、整形疾患や心大血管・呼吸器・がんなどの内部障害の患者さんが中心です。

平成24年から、心大血管疾患・がん疾患のリハビリ施設基準の認可を受け、心リハ・がんリハへの取り組みを開始しました。当院OT部門にも、心臓リハビリテーション指導士1名・がんのリハビリテーション研修修了者2名（私を含め）が在籍し、チームとして内部障害疾患に対しリハビリを展開、院内外の勉強会に参加し自己研鑽に努めています。内部障害分野はOTの介入がまだまだ少ない分野です。OTの積極的介入により、今後更なる治療効果が期待されます。

当院は九州旅客鉄道（株）が運営する企業立の病院です。年間を通して各職場の垣根を越えた様々な交流があります。私は、夏のソフトボール大会・冬の駅伝大会に参加しています。とはいっても私も齢30歳となり、無理がきかなくなり、体が悲鳴を上げる昨今です。また、院内でもクリスマス会や健康フェスタなど様々なイベントがあり、特にクリスマス会ではハンドベル演奏を行うなどリハビリスタッフ総出で取り組んでいます。

これからも患者さんを通して学び、理想とするOTを目指して頑張っていきたいと思っています。



会員動向調査

調査期間 (2013.9.3～2013.12.6)

福岡県作業療法協会 会員数2,555名

(正会員：2,320名 自宅会員：235名)

<入会>			松川 太一	新吉塚病院	: 2013年11月
小川 晃弘	芳野病院	: 2013年9月	竹之内 陽介	白十字病院	: 2013年7月
久保 涼子	八幡厚生病院	: 2013年9月	新藤 浩	今津赤十字病院	: 2013年11月
近藤 有紀	デイサービスじりつ		堀川 美幸	済生会福岡総合病院	
		: 2013年10月			: 2013年11月
羽山 史織	東筑病院	: 2013年8月			
太田 裕司	東筑病院	: 2013年9月	住吉 秀人	らそうむ発達支援ルーム	らい
金浦 洋介	北九州八幡東病院			く	: 2013年11月
		: 2013年10月	村下 健太	良創夢デイサービスセンター	
田崎 夏乃	九州労災病院門司メディカルセ		竹川 麻由美	飯塚店	: 2013年10月
	ンター	: 2013年8月		総合せき損センター	
佐野 智行	J R 九州病院	: 2013年8月			: 2013年9月
高木 絵未	新生会病院	: 2013年9月	浦 亜樹人	社会保険 二瀬病院	
内村 奈々瀬	新小文字病院	: 2013年8月			: 2013年9月
清原 凡代	浅木病院	: 2013年9月	松井 基樹	介護老人保健施設 勝寿苑	
光永 慶子	デイサービスせいかつCAN黒				: 2013年9月
	崎	: 2013年9月	黒木 雄斗	宮田病院	: 2013年9月
村岡 麻衣子	介護老人保健施設 伸寿苑				
		: 2013年11月	松尾 涼太	高良台リハビリテーション病院	
畠山 絵里香	福岡青洲会病院				: 2013年9月
		: 2013年11月	甲斐 悠里菜	高良台リハビリテーション病院	
藤村 俊宏	福岡青洲会病院				: 2013年10月
		: 2013年11月	田中 浩太郎	高良台リハビリテーション病院	
來徳 梓	介護老人保健施設 宗像アコー				: 2013年10月
	ル	: 2013年10月	平川 有美	高良台リハビリテーション病院	
坂本 愛子	福岡療育支援センター いちば				: 2013年10月
	ん星	: 2013年10月	宮崎 由季	高良台リハビリテーション病院	
坂下 沙希	栄光病院	: 2013年11月			: 2013年10月
			森田 千恵美	高木病院	: 2013年8月
栗原 佳純	香椎丘リハビリテーション病院		表 博紀	高木病院	: 2013年10月
		: 2013年3月	下田 知佳	高木病院	: 2013年11月
柿山 光荣	香椎丘リハビリテーション病院		塚本 望希	高木病院	: 2013年11月
		: 2013年9月	布井 友博	聖マリア病院	: 2013年9月
植松 泰一朗	福岡徳洲会病院		今村 和也	聖マリア病院	: 2013年10月
		: 2013年10月	明瀬 未佳	八女リハビリ病院	: 2013年9月
宇津井 勇貴	福岡徳洲会病院	: 2013年10月	朝山 奏	甘木病院	: 2013年9月
近藤 礼菜	福岡徳洲会病院	: 2013年11月	田嶋 はな	こぐま福祉会	: 2013年9月
室屋 美咲	原病院	: 2013年10月	坂井 大輔	たなか病院	: 2013年10月
山下 加奈	原病院	: 2013年10月	八田 洋輔	古賀病院 2 1	: 2013年10月
入江 萌恵	原病院	: 2013年10月	山田 理佳	介護老人保健施設 久英荘	
松田 健嗣	松永病院	: 2013年10月			: 2013年8月
二森 和久	松永病院	: 2013年11月	<県内移動>		
池田 朋子	樋口病院	: 2013年9月	藤井 麻紀	デイサービスセンター さざん	
田中 千里	早良病院	: 2013年9月		か荘	: 2013年9月
吉田 裕作	福岡リハビリテーション病院			(デイサービス ファインより)	
		: 2013年9月	三寺 宏美	デイサービスセンター まいん	
新本 のぞみ	友田病院	: 2013年9月			: 2013年4月
江口 詠理	介護老人保健施設 からざス				(西野病院より)
	テーション	: 2013年10月			
福井 綾	福西会南病院	: 2013年10月			

森 里美 産業医科大学 若松病院
：2013年12月
(小波瀬病院より)

廣渡 祥一郎 北九州八幡東病院
：2013年9月
(産業医科大学 若松病院より)

重村 優臣 西野病院
：2013年8月
(新行橋病院より)

小林 弘幸 行橋記念病院
：2013年8月
(新行橋病院より)

澤井 洋介 おかがき病院
：2013年10月
(介護老人保健施設 さくら園より)

寺尾 淳子 あやめの里
：2012年4月
(戸畑共立病院より)

戸田 友美 小倉医師会訪問看護ステーション
：2013年1月
(自宅より)

清水 香 桜クリニック
：2013年11月
(北九州総合病院より)

古賀 恵一郎 介護老人保健施設 御所
：2012年8月
(御所病院より)

本間 真琴 介護老人保健施設 菖蒲
：2012年8月
(御所病院より)

高田 忍 介護老人保健施設 サンフラ
ワーズ北九州
：2013年10月
(介護老人保健施設 千寿中間より)

日高 努 小倉到津病院
：2013年10月
(三萩野病院より)

吉野 友晃 介護老人保健施設 千寿中間
：2013年10月
(介護老人保健施設 サンフラワーズ北九州より)

梅田 美恵 アップルハート訪問看護ステーション 八幡
：2013年9月
(介護老人保健施設 やすらぎ より)

平野 七奈 三萩野病院
：2013年7月
(自宅より)

黒岩 正明 自宅
：2013年8月
(ケアプラザ 倶楽部 雪月花より)

反田 治 自宅
：2013年9月
(訪問看護ステーション きらら より)

黒田 隆之 アイエック訪問看護ステーション
：2013年11月
(西部ガス ライフサポート株式会社 ウェストライフ南片江より)

山内 智也 福西会病院
：2013年4月
(さわら老健センターより)

岡野 真由美 金隈病院
：2013年4月
(フラワーハウス博多より)

吉田 大謙 千鳥橋病院
：2013年10月

(たたらリハビリテーション病院より)

大平 紀子 地域活動支援センター I 型 ふ
らっと
：2013年9月
(訪問看護ステーション 紙ふうせん より)

横川 敦彦 福岡和白病院
：2013年4月
(新行橋病院より)

岩田 千晶 松尾内科病院
：2013年5月
(健和会 京町病院より)

堺 千春 若久病院
：2013年4月
(自宅より)

関 泰子 自宅
：2013年10月
(栄光会訪問看護ステーションより)

野田 景子 自宅
：2013年10月
(老人保健施設 からざステーションより)

真名井 朋子 自宅
：2013年9月
(入江内科小児科医院より)

塚本 和代 自宅
：2013年11月
(訪問看護ステーション ももち より)

安原 亜耶 飯塚市立病院
：2013年10月
(健康保険 直方中央病院より)

臼井 満利子 短時間リハビリ特化型 F A
L デイサービス
：2013年9月
(日高整形外科病院より)

<退会者>

相川 真哉
：2013年8月

笹山 智子
：2013年8月

稲又 直美
：2013年9月

大野 千明
：2013年9月

岡本 幸子
：2013年9月

安田 知加
：2013年10月

宮原 智子
：2013年10月

切明 あかね
：2013年10月

中川路 匠
：2013年10月

平岡 真衣
：2013年10月

古川 和裕
：2013年10月

徳本 杏子
：2013年11月

吉木 奈王子
：2013年11月

三木 悠子
：2013年11月

長谷部 裕美
：2013年11月

会員の皆様へ

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もございました。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙（異動届等）にその旨ご記入ください。

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で
県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)へ
アクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙
をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電
話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘
れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお
問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もどう
ぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年の世相を1文字で表す漢字は「輪」
でした。五輪開催地が東京に決まったこと、そし
て伊豆大島の災害で人と人の「輪」の大切さを感
じたこと、と説明されています。大震災から復興
を目指す東北にとっては、今後も人と人がつなが
ることで「輪」を広げていくことが重要です。
我々、作業療法士にも同じことが言えます。私た
ちは患者様と信頼関係でつながり、さらに作業療
法を通して、患者様とその家族や地域とのつなが
りを支援していきます。「輪」は昨年の世相を表
す1文字ですが、作業療法士にとっての「輪」の
重要性は普遍的なものだと思います。今年も、
「輪」の大切さを忘れずに多くの人とつながりを
広げ、深めていきたいと思っています。

(S沼)

体に合った車いす・目的に合った車いす
をご提供します
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社／福岡市中央区天神 5-4-15
営業本部／糟屋郡粕屋町仲原3丁目 9-20
TEL／092-938-2208
HP／<http://www.takis yokai.co.jp>



タキ商会

